

議員提出議案第7号

新型コロナウイルスワクチンの適正な配分に関する意見書

上記の議案を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和3年9月10日

提出者 西東京市議会議員 田 中 のりあき

賛成者 西東京市議会議員 稲 垣 裕 二

西東京市議会議員 佐 藤 公 男

西東京市議会議員 納 田 さおり

新型コロナウイルスワクチンの適正な配分に関する意見書

西東京市では、4月19日から高齢者施設でのワクチン接種が始まり、これまで順調に接種が進んできました。本市においては、医師会の全面的な協力を得ながら、ワクチン接種の早期完了に向け、市内5か所の病院と約80か所の診療所・クリニックに加え、市内5か所の集団接種会場を設けるなど体制を整備したものの、ワクチン供給量の不足などにより、接種体制があるにもかかわらず、十分な予約枠を設けることができず、直ちに接種率向上につながっていない現状があるため、ワクチンの配分に当たっては、以下のことに配慮されたい。

- 1 ファイザーワクチンは対象人口の8割を目安に供給が行われるとされているが、職域接種等の住所地外接種により、正確な把握ができない状況が続いている。

したがって、VRSの的確な運用により、住所地外接種を踏まえた適正な供給量の確保に努めること。

- 2 現在の状況を鑑みると、若年層の感染者を減少させるためには、ワクチン接種を促進させることが効果的であることから、東京都分のワクチン供給量を増加すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和 年 月 日

西東京市議会議長 保 谷 なおみ

提出先 内閣総理大臣、行政改革担当大臣、厚生労働大臣